参考資料２

評価対象事業一覧表

H18.10.23

H18再評価を実施する事業の一覧表

※(注1)事業費・完成・全線： 上段は今回、下段は(前回)

※(注2)B/C、NPV、EIRR： 上段は全線、下段は(残事業)

※(注3)渋滞損失時間の削減： 当該区間の整備による並行現道区間の値
※(注4)H42計画交通量： 上段はバイパス、下段は現道

NO	県	事業箇所名	評価対象理由	事業化用地着工工事着工	事業費 完成 全線(注1)	事業費 完成 進捗率	事業費 暫定 全線	事業費 暫定 進捗率	用地費(億円) 完成 全線	用地費(億円) 完成 進捗率	供用済延長km	完成車線数	供用目標	費用便益比 B/C(注2) 今回	費用便益比 B/C(注2) 前回	B/C感度分析(上段:全線、下段:残事業)(注2) 交通量変動 +10	交通量変動 −10	事業費変動 +10	事業費変動 −10	事業期間変動 +20	事業期間変動 −20	純現在価値NPV(億円)(注2)	経済的内部収益率EIRR(注2)	客観的評価指標該当数	渋滞損失時間の削減率 %(注3)	CO2削減 t/年	※H42計画交通量(台／日)(注4)	代表的な整備効果
1	宮城6号	高規格仙台東部道路	再評価後5年	S61 H1 H2	910 (350)	81%	730	100%	180	56%	10.7 /10.7	4	H20年代前半仙台港IC供用	3.7 (2.3)	4.5	4.1 (2.5)	3.3 (2.1)	3.5 (2.1)	3.9 (2.5)	2.9 (2.1)	4.6 (2.5)	3697 (195)	8.7% (9.0%)	17 /54	約5割	9,043	42,900 43,000	①仙台都市圏環状自動車専用道路網を形成 ②仙台塩釜港の利便性向上 ③交通混雑の緩和
2	秋田46号	地域高規格角館バイパス	10年継続中	H9 H11 H12	230	39%	160	56%	34	74%	/6.1	4	H19に2.6km暫定、H20年代後半全線暫定	2.8		3.0	2.5	2.6	3.0	2.3	3.3	401	8.5%	12 /54	約10割	12,830	12,600 1,900	①交通混雑の解消 ②観光交通の円滑化と観光支援 ③冬期走行環境の改善
3	岩手106号	地域高規格都南川目道路	再評価後5年	H9 H17 H18	300 (250)	10%	200	15%	13	20%	/6.0	4	H20年代前半2.6km暫定、H20年代後半全線暫定	1.3	2.2	1.4	1.2	1.2	1.4	1.1	1.5	70	5.3%	15 /54	約5割	920	8,800 5,000	①一般国道106号の交通隘路区間の解消 ②交通事故の削減 ③緊急輸送道路の信頼性の向上
4	福島121号	地域高規格会津縦貫北道路	10年継続中	H9 H11 H14	410	29%	360	33%	87	43%	/13.1	4	H19に3.2km暫定、H20年代前半4.7km暫定、H20年代後半全線暫定	4.6		5.1	4.1	4.2	5.1	3.7	5.6	1334	10.9%	11 /54	約9割	9,520	21,000 5,400	①通勤通学時間短縮による利便性向上 ②観光の支援
5	宮城45号	一般二次坂下拡幅	再評価後5年	S47 S47 H5	70 (54)	86%			54	78%	0.5 /1.2	4	H19に0.5km供用、平成20年代前半全線供用	1.7 (4.5)	1.9	1.9 (5.0)	1.5 (4.1)	1.6 (4.4)	1.8 (5.1)	1.2 (4.5)	2.0 (4.8)	58 (47)	5.8% (17.3%)	10 /54	約5割	933	39,600 ※現道拡幅	①交通混雑の解消 ②歩行者、自転車の安全性・快適性の向上
6	青森4号	一般二次土屋バイパス	再評価後5年	S60 H4 H9	170 (170)	59%	130	77%	23	96%	0.4 /4.2	4	H19に0.9km暫定、H20年代前半全線暫定	1.9 (4.2)	2.4	2.0 (4.6)	1.7 (3.8)	1.7 (3.9)	2.0 (4.6)	1.5 (4.0)	2.2 (4.4)	166 (243)	7.0% (17.2%)	14 /54	約10割	732	16,700 0	①交通隘路区間の解消 ②緊急輸送道路の信頼性の向上 ③冬期歩行者空間の確保
7	山形13号	一般二次上山バイパス	10年継続中	S54 S61 S62	450	67%	350	86%	102	97%	4.8 /11.5	4	H19に3.7km暫定、H21全線暫定	1.6 (3.0)		1.7 (3.3)	1.4 (2.7)	1.5 (2.8)	1.7 (3.2)	1.2 (2.8)	1.9 (3.1)	322 (378)	5.9% (14.5%)	12 /54	約9割	4,459	25,500 4,000	①交通混雑の解消 ②緊急輸送道路の信頼性の向上 ③交通事故の削減

H18.10.23

H18事後評価を実施する事業の一覧表

※H17計画時推計交通量は12次フレーム走行台キロの伸び率より換算

NO	県	事業箇所名	評価対象理由	事業化工事着工	供用延長	車線数完成(暫定)	事業期間				事業費(億円)				交通量(台/日)				旅行速度向上(km/h)		交通事故減少(件/年)		費用便益比B/C			代表的な整備効果
							完成		暫定		完成		暫定		完成		暫定									
							計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	供用前	供用後	供用前	供用後	当初	事後		
1	福島4号	一般二次杉田拡幅	事後評価	S58 H7	1.6	4	H13	H14	—	—	64	77	—	—	36,100 (H32) 31,400 (H17)	33,353	—	—	29.0	37.7	11.7	9.7	—	3.0		①渋滞の解消 ②交通事故の減少 ③緊急輸送道路の信頼性の向上 ④沿道環境の改善
2	山形13号	一般二次山形北バイパス	事後評価	H元 H7	6.1	4	H13	H13	—	—	40	41	—	—	28,800 (H32) 25,100 (H17)	25,684	—	—	35.5	50.1	21.3	19.3	—	2.3		①渋滞の解消 ②交通事故の減少 ③沿道環境の改善
3	青森4号	一般二次十和田バイパス	事後評価	S49 S57	12.3	4 (2)	—	—	H14	H13	—	—	189	194	17,600 (H32) 17,200 (H17)	—	—	17,412	19.0	45.1	56.7	11.7	—	2.3		①渋滞の解消 ②交通事故の減少 ③沿道環境の改善
4	秋田13号	一般二次刈和野バイパス	事後評価	S51 S61	5.4	2	H13	H13	—	—	98	140	—	—	11,500 (H32) 10,100 (H17)	11,900	—	—	30.0	56.5	9.7	4.7	—	1.5		①渋滞の解消 ②交通事故の減少 ③大型車すれ違い困難箇所の解消 ④特殊通行規制区間の回避 ⑤沿道環境の改善
5	仙台108号	一般二次小牛田バイパス	事後評価	S59 H4	4.3	4 (2)	—	—	H13	H13	—	—	66	66	17,400 (H32) 15,800 (H17)	—	—	13,236	20.8	39.6	16.0	14.2	—	2.2		①渋滞の解消 ②交通事故の減少 ③大型車すれ違い困難箇所の解消 ④沿道環境の改善